

連合「2024 春闘討論集会」 八幡副委員長が発言！



10月30日、連合「2024 春季生活闘争中央討論集会」が開催され、JR総連・八幡副委員長が発言しました。内容については以下の通りです。

八幡副委員長の発言（要旨）

連合は賃上げ要求について、これまでの「5%程度」から「5%以上」へと表現を強めた。23 春闘と 24 春闘の闘争戦術の違いが分からないという意見がある。要求を「5%以上」と変えている以上、23 春闘と 24 春闘との闘争戦術の違いについて、具体的に教えていただきたい。



連合は 23 春闘の集計結果で、ベースアップに定期昇給を合わせた平均賃上げ率は 3.58%と 30 年ぶりの高水準となったとしているが、交通運輸産業においては 2.5%と全体平均を大きく下回っている。交通運輸産業では、若年層の離職相次ぎ、慢性的な人手不足に陥り、2024 春闘における賃上げは必須である。また、4割近くの中小企業では賃上げが実施されていない。2024 春闘では、中小企業の賃上げが実現しなければ、全体の底上げにはならない。

本来の春闘である統一の要求を掲げ、春闘期間中の統一闘争により、労働組合総体の力を発揮し、賃上げを獲得することが、中小组合への波及につながる。社会的にも、要求の表現を強めた連合の姿勢が注目されている。23 春闘を上回る賃上げをみんなで実現するために、連合には強い指導性を発揮し、2024 春闘を牽引していただきたい。